

今、“はまみつを”を読み解く

～童話作家が残した現代へのメッセージ～

和田 登 (児童文学作家)

2019年10月19日(土) 14:00～16:00 開場 13:30

塩尻市北部交流センター(えんてらす) 101・102 会議室

定員 / 60人(先着順) 参加費 / 無料 申込開始 / 9月9日(月)

申込方法

広丘支所窓口、電話(0263-52-0157)、メールのいずれか。
メールの場合は次の内容をお送りください。

- 宛先 hirooka@city.shiojiri.lg.jp
件名 「10/19 本の寺子屋申込」
本文 1 参加者全員の氏名(フリガナ)
2 代表者電話番号
3 お住まいの地区
4 この講演会を知ったきっかけ



若き日のはまみつをと和田登



PROFILE

和田 登(わだ のぼる) 児童文学作家。1936年、川中島町に生まれる。信大教育学部を経て小学校教師となるも、早期退職。信大教育学部、上田女子短大で児童文学を講じる。在学中より書き継いできた著作はファンタジー、ミステリー、戦争児童文学に至るまで約百冊(共著除く)。代表作、「悲しみの砦」「キムの十字架」「思い出のアン」「悲しすぎる夏」。映画化作品、「望郷の鐘」等8作。ライフワークは一般教養書「唄の旅人 中山晋平」(評伝・岩波書店刊)。はまみつを、は同志でありライバルであった。